

2011年11月28日
住友化学株式会社

当社とモンサント社に関する誤認情報についての当社見解

最近、一部のネット上や媒体等において、当社とモンサント社に関する誤認情報が流布されております。不十分または不正確な情報に基づき誤認がなされていることは、当社としては、大変遺憾であります。本件に関し、下記のとおり、当社の見解をお知らせいたします。

記

1. 誤認情報 「住友化学はモンサント社の日本におけるエージェントである」について
【当社見解】 事実と異なります。当社がモンサント社の日本におけるエージェントや代理店であるという事実はありません。
2. 誤認情報 「住友化学はモンサント社と遺伝子組み換え作物の分野における長期的協力関係の構築について合意した」について
【当社見解】 事実と異なります。当社がモンサント社と遺伝子組み換え作物の分野において長期的協力関係の構築について合意したという事実はございません。また、当社は、遺伝子組み換え作物に関する事業を一切行っておりません。なお、当社とモンサント社との提携は、米国において、モンサント社の除草剤に耐性をもった雑草の駆除のために、当社および当社の米国での農薬開発・販売子会社であるベーラント USA 社の除草剤のラインナップを、モンサント社の雑草防除体系に組み込み、使用を推奨することを内容とするものです。

本件に関しては、2010年10月20日付のプレスリリースもご参照ください。

(http://www.sumitomo-chem.co.jp/newsreleases/docs/20101020_3.pdf)

以 上

*なお、上記の誤認等に基づき、日本経団連が TPP（環太平洋経済連携協定）の締結推進を求めている理由に関連付けて説明する情報も一部で流布されております。日本経団連の見解や方針は、当然のことながら、当社はもとより特定の一企業の事業戦略や意思決定に依存するものではなく、同団体の会員企業との意見調整を行い、これを集約しつつ定めていく性質のものであることを、念のため申し添えます。